

「神さまの約束」

～約束を成し遂げる時～

イザヤ61：1～3

今日はクリスマスです。クリスマスはイエス様の誕生をお祝いする日です。私たちはこのようになってほしいと願いを持って生きています。でも願いがすべて適うわけではありません。では適わない場合どのような行動に出るのでしょうか。私たちは適わない時、周りが驚くような悪い行動に出してしまうことがあるのではないのでしょうか。

■ イエス様の誕生は

(イザヤ61：1～3) 今日の聖書箇所はイエス様が生まれる700年も前に書かれたところですが、イエス様がどのような方であることが表されている言葉です。このような素晴らしい方が生まれた所とはどのようなところであったのかというと、洞窟のような家畜小屋であり、ちょうど時期は雨季にあたりジメジメしていてもこの地上では歓迎されていたとは思えない場所で生まれました。そして救い主の誕生をお祝いしたのはごく限られた人たちでした。この家畜小屋に来たのは東方にいる博士(知恵のある人、考えることができる人)と周りから蔑まれて、差別されていた職業であった羊飼いたちでした。

では私たちはどのように歩むべきでしょうか。

自己中心なまま生きていくのでしょうか。神様は私たちが先に変わるようにとクリスマスのこの日、イエスキリストを誕生させました。私たちの暗闇に希望の光を照らすためにイエスキリストは最下層といわれている環境の中で生まれました。この事を踏まえて、神様との約束をもう一度考えてみましょう。神様は私たちを愛しているので救いのためにイエスキリストをこの地に送られたという事実です。ある雑誌に「像はなぜ優しいのか」という話がありました。その内容は昔人と像は約束をしていました。その内容は「像は人のために働くこと、人の生活を脅かさないことでした。反対に人は像に対して殺さないよ」というお話です。その最後に像はその約束を今も守っていると結ばれているのです。しかし現実の世界では人が使う象牙のため像は殺され続けています。神様はすべての被造物を作りました。その一つひとつがその役目や約束を果たしています。しかし人だけがその役目や約束を果たさずにいるのではないのでしょうか。クリスマスとは神様が約束を果たすためにイエスキリストをこの地上に送った日なのです。

■ ① マイナスを十字架に

イエスキリストは私たちのすべてマイナスをプラスに変えるためにこの地上に来られました。クリスマスツリーの飾りは私たちの罪、悲しみ、憂いです。これをイエスキリストによるならばキラキラ光るプ

ラスへと変えられます。私たちの過去にしてしまったすべてのマイナスがプラスになるそのようなプレゼントが私たちに与えて下さるのです。それはイエスキリストが私たちの身代わりとなるために生まれたからなのです。今日、私たちのマイナスを素直に神様の前に差し出していきましょう。

■ ② 約束を大切に生きる。

私たちは神様としている約束とはなんなのでしょうか。それは私たちがいつも喜び、幸せになる約束です。私たちが喜んでいては私たちが造った神様の元へ行くことです。「大切なきみ」という物語でも同じように伝えていきます。主人公は同じ小人たちの中にいる時は比較、劣等感の中で喜ばせませんでした。しかしエリという彫刻家すなわち創造者である神様の元に行く時にその間違った価値観が変えられ、何のために生きているのか目的や使命を知れば私たちの生き方が変わっていくのだというストーリーです。私たちが私たちが造った神様のところへいき、何のために生きているのか、目的を知ることができれば喜びに満ち、幸せに生きていくことができます。

■ ③ 約束のプレゼントをシェア

シェアとは隣人へ分けていくことです。私たちの喜びを一人で終わらせることなく周りの人へ分けていきたいのです。それはいつもするべきであると聖書には書かれています。私たちは今日クリスマスの本当の意味を知りました。まず私たちがこのプレゼントを受け取りましょう。その後私たちの周りにいる人が喜べるようにシェアしていきましょう。今年のクリスマスは私たちにとっても周りの人にとっても特別なクリスマスとなるために。

神様との約束を成し遂げよう

誕生日とは生きている人を祝うものですが、なぜ2000年前に生きた人の誕生をお祝いするのでしょうか。「主よ、人の望みの喜びよ」という有名な曲の歌詞です。「主イエス・キリストこそわたしの喜び。私はこの方をだきしめる。主は、病と悲しみの中にある時に、私にいのちをくださる。イエス・キリストは私を愛し、ご自身のいのちを与えて下さった。どんな時もイエス・キリストから離れることは無い。」この歌詞のように神様の愛が私たちを包んでくださるからこそ、私たちは約束を果たしていこうと思います。私たちの与えて下さった喜びを失うことなく私たちの目的を果たしていきましょう。